

第 211 回 CARD セミナー

「マウス超過剰排卵誘起法のすべて」

日時：平成 28 年 5 月 17 日(火) 15:00~17:00

場所：東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター
国際会議室（1 階）

所在地：〒108-0023 東京都港区芝浦 3-3-6

電話番号(受付)：03-5440-9020

<http://www.cictokyo.jp/access.html>

* アクセス：

JR 山手線・京浜東北線 田町駅から徒歩 1 分

都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅から徒歩 5 分

講師：竹尾 透、中潟 直己

熊本大学生命資源研究・支援センター

動物資源開発研究施設(CARD)・資源開発分野

現在、遺伝子改変マウスのバックグラウンドである C57BL/6 系統マウスにおいて、通常の過剰排卵誘起で得られる卵子数は平均 20 個前後であり、排卵数が 10 個以下であるケースもしばしば経験している。また、マウスにおいては、安楽死させることにより採卵を行うため、多数の雌を犠牲にしなければならないことも、実験動物の福祉・愛護、すなわち、3 Rs の観点からきわめて大きな問題となっている。最近、私たちは抗インヒビン抗体と妊馬血清性腺刺激ホルモン（PMSG）を組み合わせることにより、良好な過剰排卵を誘起させることに成功し（超過剰排卵誘起法：PLOS ONE, 2015）、すでにルーチンワーク等で使用している。また、昨年から約 200 の国内外のマウスバンクや実験動物施設にそのサンプルを送付、その有用性について多くの検討が成されている。本セミナーでは、超過剰排卵誘起剤を用いて得られた基礎・ルーチンワークのデータ、また、国内外の施設から寄せられた膨大なデータなどを中心に、マウス超過剰排卵誘起法のすべてを紹介する。

事前参加申込先（連絡先）：高橋 郁 <card-rep@kumamoto-u.ac.jp>

